

『名古屋空港周辺林先地区計画』の変更に関する説明会

日時:平成27年7月30日(木)午後7時～
 場所:豊山町社会教育センター 3階 視聴覚室
 主催:豊山町役場 産業建設部 地域振興課

1. 背景

名古屋空港周辺林先地区計画は、平成18年11月17日に町決定した約10.4haの地区です。

この地区は、旧名古屋空港の時代は国際線旅客ターミナルを中心とした基幹空港施設地区として年間約400万人の旅客で賑わっていました。平成17年2月17日の中部国際空港（セントレア）開港と同時に開港した県営名古屋空港では空港区域外に位置付けられたことにより、土地等は国から民間に売却され、都市基盤が整い大規模集客施設が立地しました。

このことから、平成22年12月24日に「近隣商業地域」として市街化編入され、建築物等の用途の制限も変更されました。

平成23年12月22日に、既存工場を含む空港周辺地区が『アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区』の指定を受け、「航空宇宙産業」を育成・振興することとしています。

こうした中、MRJ量産工場や点在する既存施設等と連携する拠点施設として、本地区内において、「航空機をテーマとした見学者の受入拠点施設」を愛知県が建設することが発表されたところです。

愛知県が拠点施設及び駐車場の建設を予定している区域は、本地区計画において地区施設の「緑地」に位置づけられていることから、拠点施設として活用するためには、「緑地の変更」が必要となります。

豊山町としても、まちづくりの上位計画に基づく本地区の目的に沿った施設であるので、愛知県の計画を推進するために、地区計画の変更を行うものです。



2. 当地域の関連計画における位置付け

(1) 【豊山町第4次総合計画】

重点戦略として「既存の工業施設や空港施設に隣接する土地の有効活用により、空港機能と一体となった航空宇宙関連産業の育成・誘導を目指す」と位置付けています。

(2) 【豊山町都市計画マスタープラン】 <都市計画法>

広域交流拠点の形成方針として「コンピューター航空・ビジネス機などの小型機を中心とする都市型総合空港である県営名古屋空港と旧空港区域に立地する大規模集客施設地区には、広域で人・文化の交流の創出に向けた都市機能を集約配置し、拠点を形成する」としています。

(3) 【国際戦略総合特区】 <総合特別区域法>

愛知県を始め12地方公共団体（豊山町含む）が共同で申請し、平成23年12月に国から指定を受けた『アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区』において、既存工場を含む空港周辺地区が航空機の機体の研究開発又は製造に関する事業を展開する地区に位置付けられています。

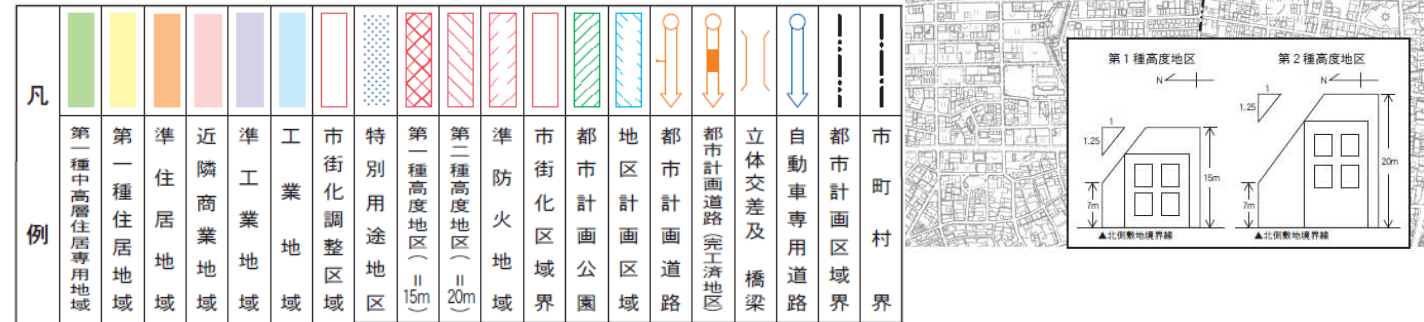
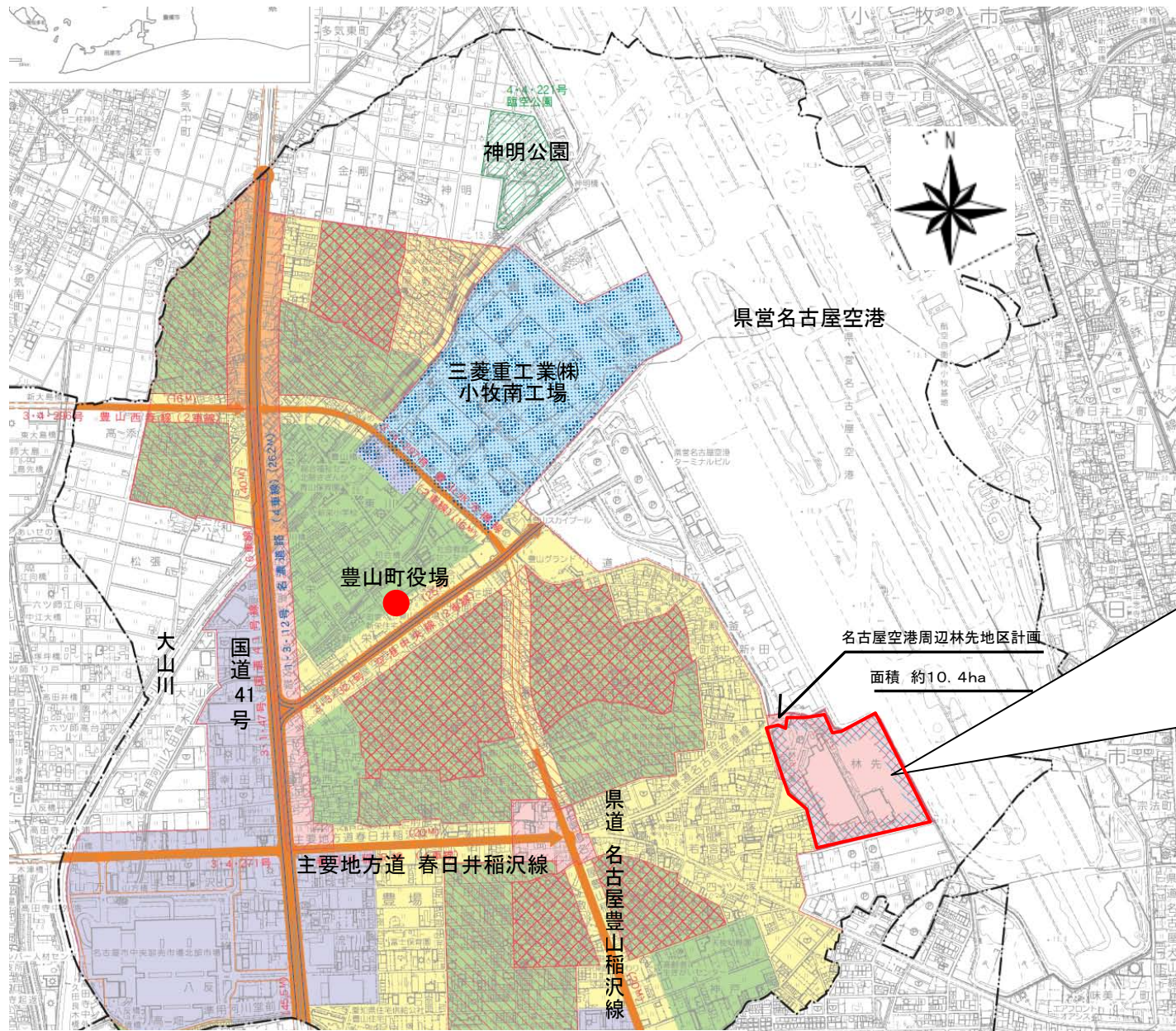
3. 地区計画及び地区整備計画

- | | |
|------------|---|
| 1 名称 | 名古屋空港周辺林先地区計画 |
| 2 面積 | 約10.4ha |
| 3 地区計画の目標等 | (1)地区計画の目標： 県営名古屋空港に隣接し交通利便性の高い地区であるという立地条件を生かし、地域振興に貢献する土地利用転換を図ることで、臨空港都市として、空港と連携した地域の活力をけん引する新たな広域交流拠点を形成
(2)土地利用の方針： 新たな交流拠点の形成のため、大規模集客施設を配置
(3)地区施設の整備方針： 潤いと憩いの空間としての公園及び緑地を配置 |
| 4 地区整備計画 | (1)地区施設の配置及び規模： 約2,500㎡の公園一ヶ所
地区施設の緑地に関する内容を以下のとおり変更
緑地「約3,200㎡」を「約2,200㎡」に変更
「ただし、車両の乗入れ等計画上やむを得ない部分を除く」を追記
(2)建築物等に関する事項
1)用途の制限
(建築してはならない主な建築物)
①一般住宅、共同住宅 ②自動車教習所 ③15㎡を超える畜舎④マージャン屋、パチンコ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場等 ⑤風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律の規定する店舗型風俗特殊営業
2)容積率の最高限度： 200% 3)建ぺい率の最高限度： 60%
4)高さの最高限度： 航空法に規定する制限表面の高さ |

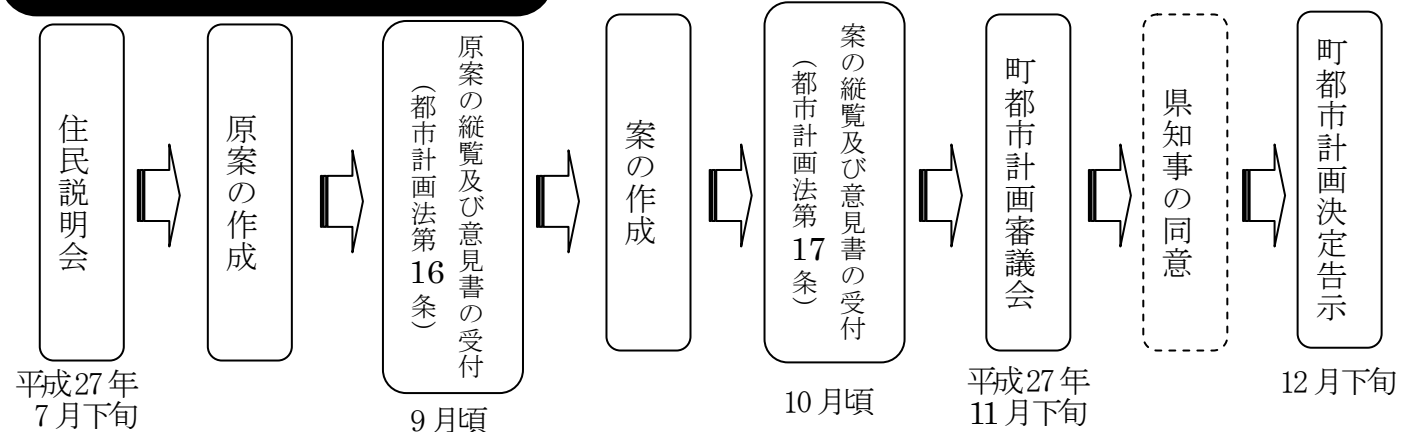
4. 県営名古屋空港見学者受入体制に係る新たな拠点施設の概要

- 1 施設の目的
あいち航空機産業フィールドミュージアム（仮称）の核施設となる新たな拠点施設の整備
- 2 施設の概要
 - (1)大きさ 幅：約90m 奥行：約58m 高さ：約20m
 - (2)建築面積：約5,000㎡ (3)延床面積：約7,000㎡
 - (4)主な施設：MRJ試験機やYS-11、零戦等を展示するゾーン、見本市や研修会等が開催できるメッセイベント会場、名機百選の展示ギャラリー、ものづくりの体験学習コーナーなど
 - (5)事業費：約30億円（うち拠点施設建設費約20億円）
 - (6)年間来場者目標数：年間約35万人（オープン当初は65万人程度）
 - (7)利用料金：大人1,000円/人、子供500円/人（就学前無料）
小中学生の社会見学300円/人（予定）
 - (8)オープン時期：平成29年度第2四半期を目安

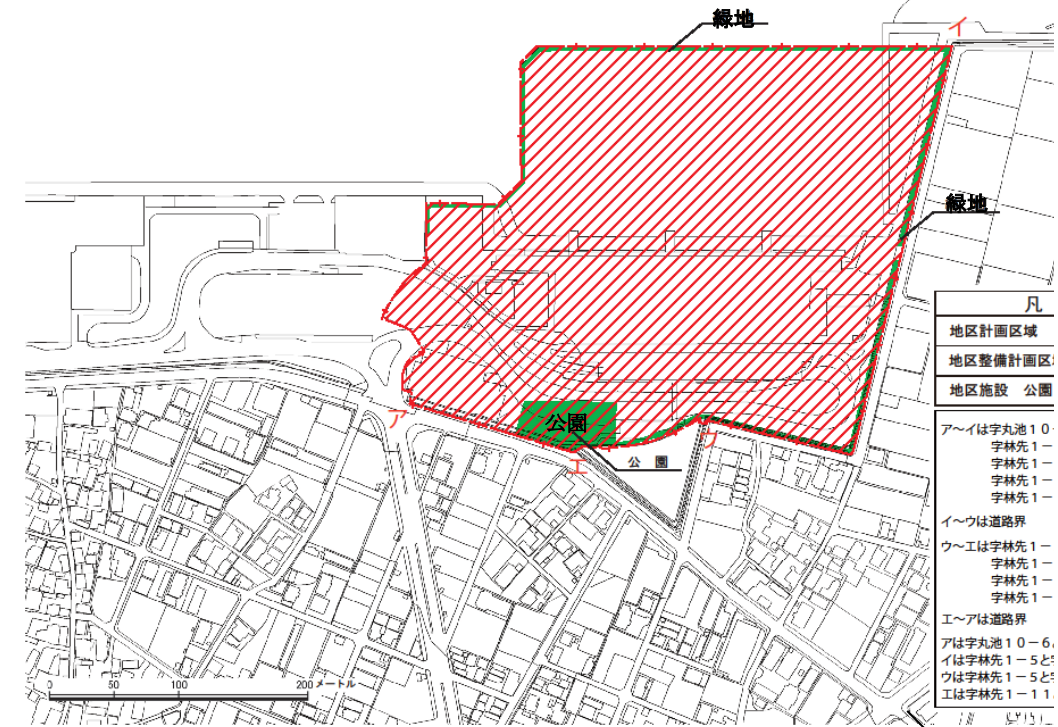
総括図(位置図)



5. 今後の主な都市計画の手續



計画図【現在】



計画図【変更】

